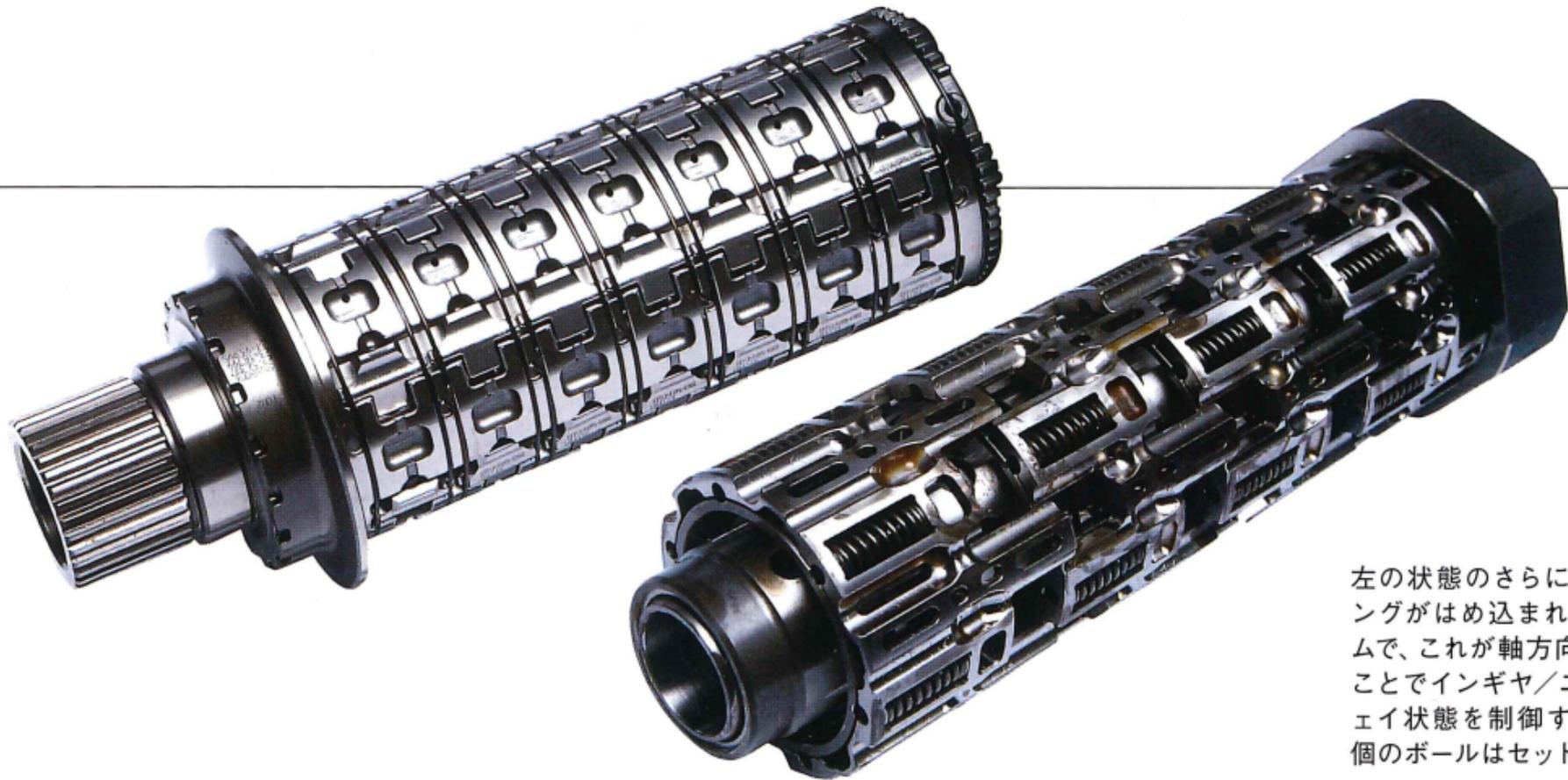


共噛み防止+変速機構

メインシャフトに収まるワンウェイクラッチ+変速機構を抜き出した状態。ギヤ段数と同じ7つのセクションに分かれている。制御したい内容は単純明快だが、機構は複雑になってしまったため、制御が難しく、信頼耐久性の確保が課題だった。エンジン付きベンチで1300kmまで保証できたところで撤退の発表があり、開発を止めた。



左の状態のさらに内側を見る。スプリングがはめ込まれた部位がスライドカムで、これが軸方向（前後方向）に動くことでインギヤ/ニュートラル/ワンウェイ状態を制御する。写真では大小2個のボールはセットされていない。